

●ご使用前に、この『安全上のご注意』を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

**取扱説明** お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

### お客様への安全上のご注意

**警告** 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します

- 器具の改造、部品の交換はしないでください。  
発煙・発火、感電、又は落下によるケガのおそれがあります。
- 万一、煙がでたり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、又は工事店にご相談ください。  
異常状態のまま使用しますと発煙・発火、感電のおそれがあります。
- LEDを直視しないでください。目の障害を起こすことがあります。

保守・点検  
修理  
使用環境

**注意** 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します

- お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。感電、ヤケドの原因となることがあります。
- 安全に使用するために、1年に1回は自主点検をおこなってください。
- 3年に1回は工事店など専門家による点検をおこなってください。(3年以上経過したものについては入念に点検をおこなってください。)異常状態のまま使用しますと発煙・発火、感電、又は落下の原因となることがあります。
- この器具には寿命があります。一般的な使用場所では設置して8～10年経過すると外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。交換・点検をおすすめします。  
※使用条件: 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 (JIS C 8105-1解説による)
- 周囲温度は取扱説明書指定の範囲で使用してください。不点や短寿命の原因となることがあります。
- 亀裂の発生した前面カバーはそのまま使用しないでください。
- 積雪地域で使用する場合は、雪に埋もれないよう除雪してください。

### お手入れ

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、洗剤（薄めた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。火災・変質・変色の原因となることがあります。
- LED交換について…LED交換はできない構造です。定格寿命後は器具の交換をおこなってください。

お客様へ 器具の保守のために、下記施工記録表を確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。  
なお、安全のため保守作業はできるだけ工事店、電器店にご依頼ください。

**保守のための記録**  
工事完了後、今後の施設の安全維持のため、各欄に記入のうえ、お客様にお渡しください。

施工記録表			
工 事 名			
工 事 店 名		取 付 台 数	使 用 電 源
電 話 番 号		器 具 形 式	使 用 電 圧
取 付 年 月		使 用 L E D	ブ レ ー カ N o .

**商品の保証について**  
照明器具保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。  
※ 保証の例外：24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。  
保証内容：取扱説明書などの注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理などの処置をさせていただきます。  
修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買上げの販売店様（工事店様）又は下記ご相談窓口にお問合せください。

**商品に関するご相談窓口**  
お問合せの際は器具銘板、又は施工記録表で器具形式をご確認のうえ、ご連絡ください。  
【CSセンター】電話番号 048(554)1124 FAX 048(554)7445  
※電話番号など、変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。  
お問合せ受付時間：月～金/9:00～17:00（土・日曜・祝日・年末年始・当社休業日を除く）



# LED照明器具取扱説明書

保管用

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店（有資格者）などがおこなってください。  
資格のない人の配線工事は法律で禁止されています。

**施工説明** 施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

### 施工者様への安全上のご注意

**警告** 製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される危害の程度を示します

- 器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。  
発煙・発火、感電、及び落下のおそれがあります

一般屋外用器具	一般屋内用器具
●周囲温度が製品概要の使用温度範囲を超える場所	●周囲温度が製品概要の使用温度範囲を超える場所
●腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所	●腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
●湿度が85%を超える場所、及び水の浸る場所	●湿度が85%を超える場所、雨や水のかかる場所
●振動、衝撃の多い場所	●強い風の吹き抜ける場所
●粉塵の多い場所	●振動、衝撃の多い場所
●可燃材に触れる場所	●粉塵の多い場所
●雪で器具が埋没する場所	●可燃材に触れる場所

- 施工の際は取扱説明書に従って正しくおこなってください。  
誤った取扱いがあると、発煙・発火、感電、又は落下によるケガのおそれがあります。
- 電源接続は取扱説明書に従って確実におこなってください。  
接続不良による発煙・発火、感電のおそれがあります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実におこなってください。  
アースが不完全な場合は感電のおそれがあります。
- 器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。  
発煙・発火、感電、及び落下によるケガのおそれがあります。
- 器具は落下、発煙・発火、及び感電などの危険を避けるため、質量や風圧などの荷重に耐える場所に確実に取付け、  
器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。  
落下、発煙・発火、及び感電のおそれがあります。
- 前面カバー（グローブ）は、衝撃が加わると破損するおそれがあります。  
取扱いにご注意ください。  
欠けやひび割れの発生している前面カバー（グローブ）は使用しないでください。  
破損、及び落下によるケガのおそれがあります。

設置・施工  
設置・施工  
接地・施工  
保守・点検  
設置・施工  
設置・施工

**注意** 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか又は物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します

- 器具の取付けには十分注意をはらってください。
  - 取付面が強度不足の場合は、器具の落下によるケガの原因となりますので、器具の質量に応じて十分確認して取付けてください。
  - 器具からの漏れ光が環境へ悪影響を及ぼす場合がありますので、取付けの際は考慮してください。
  - 被照射距離が指定した距離より近い場合、発煙・発火の原因となりますので注意してください。
- 定格電圧（定格±6%以内）は電源接続の際に必ず確認をしてください。  
誤って使用しますと、発煙・発火、LED損傷の原因となることがあります。
- LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。
- 使用する電線は施工説明書指定品と同等以上の性能を有する電線を使用してください。  
指定性能以外の電線を使用すると発煙・発火、感電の原因となることがあります。
- 定着灯、投光器、道路灯、街路用照明器具を移動灯として使用しないでください。  
破損によるケガ、ヤケド、故障の原因となります。
- 器具全体や一部及び前面部に材質を問わず、覆ったり、かぶせたりしないでください。  
特に、前面カバー部にフィルター類を覆ったり、かぶせたりしないでください。  
発煙・発火、及び故障の原因となることがあります。

# 施工説明書

## ●製品概要

名称	LEDioc FLOOD DUPELL 310					
投光器形式	配光性能	光源色	色温度	演色評価数	仕上 色	適合 LED 電源形式
E30501M/N	中角タイプ	昼白色	5000K	Ra:70 (高効率形)	ブラック 半艶	LE148115HS1/2.4-A1 (必要数：2台)
E30501W/N	広角タイプ					
E30501SW/N	超広角タイプ					
E30501S/N	横長配光タイプ			Ra:80 (高演色形)		
E30502M/N	中角タイプ					
E30502W/N	広角タイプ					
E30502SW/N	超広角タイプ					
E30502S/N	横長配光タイプ					
質量	15kg ±10%					
防水性能	防雨形					
使用場所	人が容易に触れるおそれのない屋外の一般的な場所					
使用周囲温度	-20~35℃					
適合電線	600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル（2PNCT）と同等以上の性能を有する2mm <sup>2</sup> ×5心ケーブル（仕上外径φ10.5~16.2mm）					

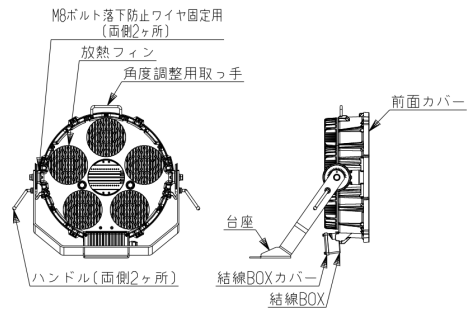
## ●この投光器には、適合のLED電源が必要です

- 必ず適合のLED電源とセットで使用してください。（上表の組み合わせで使用してください。）  
**※商用電源へ直接接続したり、HID用安定器二次側などで使用した場合、投光器（LED）の破損、発煙または点灯回路損傷のおそれがあります。**
- 電源電圧は、LED電源に指定された電圧の範囲以内で使用してください。
- 投光器からLED電源までの管灯回路（電源二次側）配線長さは、50m以下で使用してください。  
長すぎますと始動性能や特性に影響が出ることがあります。
- 投光器のLED点灯回路は2系統で構成しており、各々に極性があります。LED電源および投光器の極性を合わせて配線してください。

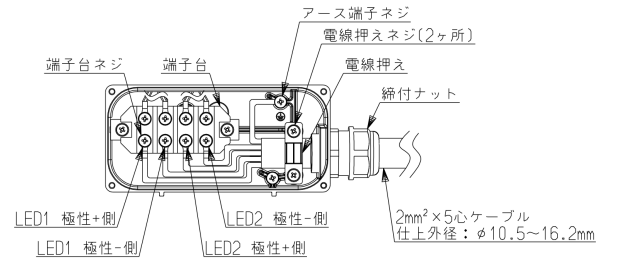
## ●ご使用上の注意

- 施工は、取扱説明書に従って正しくおこなってください。施工に不備があると、発煙、発火、感電、落下による事故の原因となることがあります。
- 投光器は、投光器質量に充分耐える強度を確保した構造物に取付けてください。過度の締付けによる投光器の変形に注意し確実に取付けてください。  
施工に不備があると、落下の原因となることがあります。
- 投光器の使用可能角度範囲（図4-1,図4-2）をご確認のうえ、構造物と干渉しないように投光器を取付けてください。  
投光器が構造物に触れた状態で設置された場合、発煙、発火、落下の原因となることがあります。
- 角度調整用取っ手（図1）は投光器設置後、照射角度を調整するために使用するものであり、運搬用ではありません。  
運搬用に使用した場合、落下によるけがの原因となることがあります。
- 投光器の設計風速は60m/sです。それ以上の場所で使用すると、落下による事故の原因となることがあります。
- 投光器は定置形器具です。それ以外の用途で使用すると、発煙、発火、感電、やけど、落下による事故の原因となることがあります。
- 放熱フィンに落ち葉やごみ、虫の死骸などが溜まるおそれがある場所で使用する場合は、必ず定期的な清掃を実施してください。  
放熱効果の低下により光束の低下やLEDの短寿命の原因になります。
- LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。
- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色のばらつきが大きいのが実情です。そのため個々のLEDにより色味が異なる場合があります。  
また照射距離が近い場合は、照射面によって光むらや色むらが生じることがあります。
- 投光器の周囲温度が-20~35℃の範囲で使用するよう設計されていますが、夏季期間などの一時的に50℃まで上昇する場所に使用することは可能です。ただし、周囲温度が50℃を超える場所で使用した場合、温度上昇により発煙、発火、電源の故障、若しくはLEDの寿命が短くなる原因となることがあります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因になります。
- 投光器の前面カバーにきず等をつけないでください。破損、防水不良、照度低下の原因となることがあります。  
なお前面カバーに亀裂等が発見した場合は、ただちに電源を切り、早急な交換の必要がありますので最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。
- 投光器は分解、改造しないでください。放熱フィンや前面カバーを外したりしないでください。  
発煙、発火、感電、落下、破損の原因となることがあります。
- 投光器は掘り込まれた狭い場所や筒に囲まれた風通しの悪い場所には取付けしないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 投光器全体や一部及び前面部に、材質を問わず、覆ったり、かぶせたりしないでください。  
特に、前面部をフィルタで覆ったり、かぶせたりしないでください。発煙、発火、感電、落下、破損、変形の原因となることがあります。
- 既設のポール、架台等を使用するリニューアルの場合、老朽化が考えられ投光器の落下や架台等の破損の原因となりますので、必ず最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。
- その他使用条件でご不明な点がありましたら最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

## ●各部の名称（図は一部省略抽象化してあります。）



【図1】

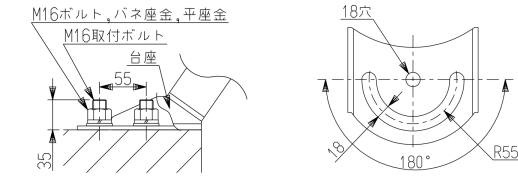


【図2】

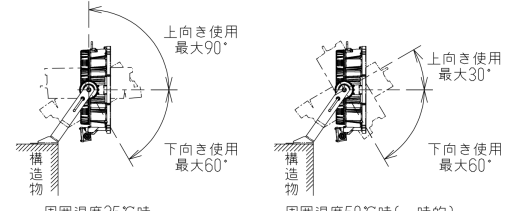
## ●投光器の取付け

取付けに不備がある場合、浸水による絶縁不良やランプ不点の原因となることがあります。

- 投光器は、構造物の取付面に図3のように取付ボルトM16を55mm間隔で2本設置し、投光器の台座の穴に挿入して、取付ボルト各々に平座金、ばね座金、六角ナットを入れ締付推奨トルク94~108N・mで確実に締付けてください。（図3）  
締付けが不完全な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。
- 投光器は、図4-1の照射角度範囲内でご使用ください。また、**周囲温度が一時的に50℃まで上昇する場所に使用することは可能ですが使用角度に制限がございますので図4-2のように設置してください。**



【図3】



【図4-1】

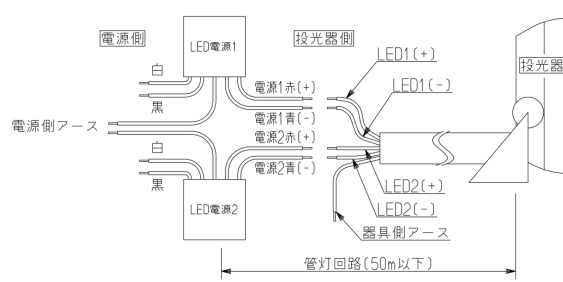
【図4-2】

## ●電源線の接続

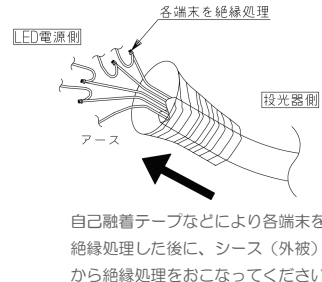
- 結線BOXカバーをネジ4本緩めて取外してください。
- 600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル（2PNCT）と同等以上の性能を有する2mm<sup>2</sup>×5心ケーブル（仕上外径φ10.5~16.2mm）を締付ナットに通し、図2のように極性を合わせ、端子台に結線して端子台ネジを締付推奨トルク1.3~1.5N・mで緩みのないように確実に締付けてください。また、5心ケーブルは電線押えにて確実に固定し、電線押えネジを締付推奨トルク1.3~1.5N・mで緩みのないように確実に締付けてください。また、管灯回路（電源二次側）配線長さは、50m以下で使用してください。（図2,図5）
- LED電源の投光器側配線と投光器側のケーブルを結線する際、ケーブルのシースと5心の電線末端処理を自己融着テープなどにより確実におこなってください。不完全な場合、ケーブルのシース内を通して投光器内に浸水することがあります。また、絶縁処理は導体部分のみではなくシース（外被）部も含めておこなってください。（図6）  
不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因となることがあります。

投光器のLED点灯回路は2系統で構成しております。LED1の極性＋、LED2の極性＋と適合電源の極性＋を合わせてください。  
結線が異なるとランプの不点や故障の原因となることがございます。

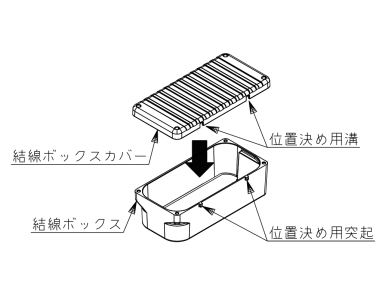
- 結線BOXカバーを取付けの際は、結線BOXと結線BOXカバーの片側にそれぞれ位置決め用の突起と溝がありますので、突起部を溝に合わせるようにはめ込んでください。（図7）  
取付けに不備がある場合、浸水による絶縁不良やランプ不点の原因となることがあります。
- 結線BOXカバーはネジ4本を締付推奨トルク1.3~1.5N・mで均等に締付けて雨水がはまらないように確実に取付けてください。  
また、締付ナットも雨水が入らないように確実に締付けてください。（締付推奨トルク：2.0~2.5N・m）
- 投光器のアースは結線BOX内にあるアース端子を利用して、D種接地工事をおこなってください。
- 結線が終わりましたら、投光器側の配線ケーブルは必要な長さを確保して、アームに結束バンドなどで固定してください。



【図5】



【図6】



【図7】

## ※ご注意

**商用電源へ直接接続したり、HID用安定器二次側などで使用した場合、投光器（LED）の破損、発煙または点灯回路損傷のおそれがあります。**

## ●照射角度の調整

- 照射角度の調整は、図1の角度調整用取っ手で器具をしっかりと支えながらハンドル（2箇所）を緩め、ゆっくりと器具の照射角度に合わせてください。  
しっかりと支えていない場合、器具が急に回転し破損、けがの原因となります。
- 照射角度調整後、ハンドル（2箇所）をしっかりと締付けてください。（締付推奨トルク：22~25N・m）  
締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。
- 照準器による照射角度の調整をご希望の場合は、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

角度調整の際、本体とアームの間に手を挟まないようご注意ください。  
けがの原因となることがあります。

その他ご用命でご依頼事項がありましたら、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。